

廃棄物減量等推進審議会会議 会議結果

会議名	令和2年度第1回木津川市廃棄物減量等推進審議会		
日時	令和2年8月18日(火) 午後1時30分から	場所	木津川市役所 5階 全員協議会室
出席者	委員	■橋本委員(会長)、□浅利委員(副会長)、■田中委員、■二宮委員、 ■…出席 ■平尾委員、■石田委員、■木下委員、■中尾委員、□中島委員、 □…欠席 ■中野委員、■新井委員、■川西委員、■岩木委員、■中岡委員、■内村委員	
	その他出席者	傍聴人：0人	
	庶務	市民部 山本部長 まち美化推進課 福田課長補佐兼まち美化係長、櫻井主任	
議題	1 委嘱状交付 2 開会 3 市長あいさつ 4 諮問 5 議事 (1)報告事項 ①家庭系可燃ごみ等の状況について ②令和元年度重量指定袋制の収支(見込み)について ③令和元年度財源活用事業の実績について (2)審議事項 ①令和元年度市民提案型ごみ減量活動等補助金の結果報告について ②令和2年度の開催スケジュール等について ③部会の確認及び部会における部会長、副部会長の指名等について 6 その他 7 閉会		

会議経過	<p>櫻井主任 (進行)</p> <p>副市長</p> <p>櫻井主任 (進行)</p> <p>副市長</p> <p>櫻井主任 (進行)</p> <p>副市長</p> <p>櫻井主任 (進行)</p>	<p>開会に先立ちまして、この度は、任期満了や役員改選等に伴い5名の委員が交代されましたので、委嘱状を交付いたします。本日の議事日程、時間の都合上、ご審議いただく時間を確保してまいりたいと考えておりますので、大変失礼かと存じますが、予め皆様方の机の上に置かせていただいております。</p> <p>引き続き、「令和2年度第1回木津川市廃棄物減量等推進審議会」を開催させていただきます。</p> <p>事務局説明省略(注意事項)</p> <p>本日の審議会の定足数でございますが、15名中、過半数を超える12名の皆様にご出席をいただいております、木津川市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例施行規則第8条第2項の規定により、会議が有効に成立しておりますことを、ご報告申し上げます。</p> <p>次に、交代されました委員もおられますので、あらためて委員の皆さまと事務局職員をご紹介します。</p> <p>〈委員及び事務局職員紹介〉</p> <p>なお、木津川市PTA連絡協議会からの委員につきましては、現在、前委員の任期満了に伴い、改選の手続き中ですので、ご推薦をいただき次第、新たに委嘱をさせていただきます。</p> <p>それでは、委員の皆様には市長よりご挨拶を申し上げます。なお、河井市長は他の公務がございますので、田中副市長が代読させていただきます。</p> <p>〈市長あいさつ(田中副市長代読)〉</p> <p>次に、木津川市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第9条の規定により、田中副市長から審議会会長に対しまして、諮問を行います。</p> <p>〈諮問〉</p> <p>それでは、これをもちまして、副市長は、他の公務がございますので、退席させていただきます。</p> <p>〈副市長退席〉</p> <p>事務局説明省略(配布資料の確認)</p> <p>それでは、これより議事に入らせていただきます。議長につきましては、木</p>
------	--	---

	津川市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例施行規則第8条第1項の規定により、橋本会長にお願いいたします。
会 長	<p>それでは、私の方で議事を進行させていただきます。みなさんこんにちは。お暑い中お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>まず、審議会運営内規第5条第2項の規定により、会議記録署名委員を指名いたします。昨年度から名簿順で引き続きでお願いしたいと考えておりますが、本日中島委員の順番のところ今回は来られていないということで、代わられてすぐなんですけれども川西委員にお願いいたします。よろしいでしょうか。</p> <p>早速ですが、議事の報告事項①「家庭系可燃ごみ等の状況について」を事務局から説明願います。</p>
福田補佐	事務局説明省略（家庭系可燃ごみ等の状況について）
会 長	事務局の説明について、質問・ご意見等ありますでしょうか。
田中委員	説明がちょっとわからない部分があったのでお伺いしたいんですが、資料1の下段の有料指定1年経過後っていうグラフで、左側のグレーのグラフが平成30年度、ブルーが31年度…去年ですか、それで、有料1年経過後は大体ブルーの方が多いですね、それ以前はブルーの方が少ないですけれども。それはプラごみが含まれるかどうか、と、そういうことですか。
福田補佐	いえ、比較等については同じ「可燃ごみ」で比較しております。
田中委員	純粹に紙とか雑がみ？とかそういうもの同士での比較で、有料化後の方が増えているということですか。
山本部長	グラフの見方なんですけど、今説明がありましたとおり、グレーは平成30年度のデータです。有料化が10月1日からスタートしておりますので、グレーの9月を見ていただきますと、9月は有料化の駆け込みという影響があったかと思われませんが、1人497.7gの可燃ごみ…この中には燃やすごみと廃プラスチック類が入っておりますけれども、497.7gが出ていると。有料化の開始した10月が360.0gということですので、有料化当初の方がより効果が大きくあったということになります。
田中委員	右側の黄色いエリアは、グレーもブルーも有料化後のことだということですね。で、左側のグリーンのエリアは、ここは顕著な減量効果がありますけれども、有料化前と有料化後の状況だということですね。
山本部長	10月だけを見ますと、有料化を開始した当初の平成30年10月と、その翌年

		<p>の10月を比べると、有料化の効果が若干薄まってきているようにも見えますよ、と。これは先ほどもありましたとおり、経済的な動向でありますとか様々な動向がありますので、これを以て減量効果がなくなったという判断はしておりませんが、数値だけの比較を見る限り、1年経過したときに1年前のごみ量と比べると若干増加傾向がみられるということになります。</p> <p>また3月ごろからは前年との差が非常に大きくなっておりませんが、これはコロナの影響が出てきているということで解釈しています。それと同じように、次の資料の4月5月6月とこのあたりはやはりコロナの関係で影響がでてきているのかなと思っておりまして、先月7月で概ね昨年度と同じくらしいの排出量に落ち着いたのかなと思っております。いずれにいたしましても、コロナでありますとか経済動向によりまして可燃ごみの排出状況は非常に大きく変わって参りますので、こういった数値を押さえながら注視していくことが必要かなどと思っておるところであります。以上です。</p>
田中委員		わかりました。ありがとうございます。
会 長		他、いかがでしょうか。
平尾委員		家庭ごみの関係で資料はいただいてまして、この議論には関わりないかもしれないんですが、木津川市全体としての廃棄物の量は同じような傾向だと理解してよろしいでしょうか。
山本部長		<p>環境の森センター・きづがわが平成30年9月から稼働しておりまして、それまでの可燃ごみにつきましては打越台環境センターというところに持ち込んでたんですけれども、事業系ごみの中の草ごみについては民間に委託しておりましたので、木津川市全体として比べようと思っても、元々数値を持ち合わせていないものがありますので比べようがありません。ただコロナの影響でいいますと事業系のごみは草ごみを除きますと、若干減っております。家庭からのごみにつきましてはご自宅にいることが多くなりますので、例えば食べ残しのごみであるとか色々でできますので増加傾向にありますけれども、事業系のごみは逆に…例えば飲食店に行かれる機会が減少しているため、飲食店からでてるごみが減ることになりますので、事業系のごみは減少傾向にあったと言えます。いずれにしても家庭系の可燃ごみを見ますと、人口が増加傾向にある一方で1人当たりの原単位は減ってきておりますので、家庭系の可燃ごみは減少傾向にあると言えます。</p>
平尾委員		ありがとうございます。
会 長		その点については私もお伺いしようと思っていたんですが、減っている量と増えている量と比べるとどうなんでしょうか。

山本部長	可燃ごみだけの総量だけでいいですと、お渡ししております資料1-②を見ていただきたいと思うんですけれども、左上のところに可燃ごみの表があるんですが平成30年度の総量11,361tに対して令和元年度は11,005tと、総量的には350t程度減ってきているという状況です。もっと全体的な話でしょうか。
会長	主にはこの数か月の話で、次の資料に関連するかもしれないんですけど、家庭系可燃ごみとして増えている量と、事業系一廃で減っている量と、どういったバランスなのかなど。
山本部長	<p>どういう形の数字で説明させていただいたらいいか分からないところがあるんですが、事業系の一般廃棄物については環境の森センター・きづがわに精華町と木津川市ともに入れております。この関係で、例えば草ごみですとどちらのごみかということが中々分けられないところではあるんですけれども、例えば4月の量でいきますと、事業系のごみが令和元年度については439tございましたが383tに減っています。5月につきましては455tから408t、6月に入りますと草ごみの影響が大きくなるので、昨年475tに対して585tというような形になっていますが、剪定枝を除きますと事業系のごみにつきましては減少傾向にあるという形になります。</p> <p>同じく家庭系のごみでいきますと、昨年の4月が木津川市・精華町合せて1,463tあったものが、今年の4月は1,503t。この大きな要因としては、精華町のごみが増えてきていたという状況でございます。5月につきましては、1,570tに対して1,657t、6月は1,311tに対して1,496tという形でコロナの関係で在宅の影響がともに出てきているのかな、という数字でございます。細かな数字になりますので、もし必要であればまた令和元年度と令和2年度の木津川市の事業系・家庭系を含めました資料につきましては、別途準備をさせていただきますと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。その他よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次に移りたいと思います。報告事項2つめ「令和元年度有料指定袋製の収支（見込み）について」を事務局から報告願います。</p>
福田補佐	事務局説明省略（令和元年度有料指定袋製の収支（見込み）について）
会長	事務局からの報告について、質問等ありましたら挙手をお願いいたします。
田中委員	令和元年度収支の表なんですけれども、有料袋の売り上げが1億65万円、必要経費で2,835万円、これは袋の製造業者への代金支払いというのが殆どということですか。
福田補佐	必要経費のなかで「指定ごみ袋」とありますが1801万円。これが実際のごみ

		袋の作成費で、その他に取扱店への販売手数料の支払いですとか、取扱店から注文があった場合の配送費といったものなどを内訳として書かせていただいています。
	田中委員	ありがとうございました。
	会長	他、いかがでしょうか。まあ、このペースでいくと来年も7,000万円プラスしていくということになり、すごい金額になっていくんですが、それをどう活用していくかというところを考えていく必要がありますね。ちなみに実績額のところで、予算に対しての実績はどのような関係になってましたか。
	福田補佐	大体予算ベースでいくと1,000万円程度の予算を確保しておりました。監視カメラなど物品購入にあたっては見積や入札の関係で購入価格が安くなったこともありますし、市民提案型補助金については実際の応募件数等が予算に到達しなかったということ等もございますので、大体6割程度の執行率という形になっております。
	会長	ありがとうございます。他よろしいですか。今後の活用をどうしていくかということにも関連しますので、念頭に置いていただいて議論に役立てていただければと思います。 それでは、報告事項③「令和元年度財源活用事業の実績について」を事務局から報告願います。
	福田補佐	事務局説明省略（令和元年度財源活用事業の実績について）
	会長	事務局からの報告について、質問等ありましたら挙手をお願いいたします。
	中尾委員	時間の制約もあるので検討願いで聞き流して下さったらいんですが、財源活用事業の資料について地域の動向だとか市民の認識レベルについて知りたいんですね。指標実績の数値だけではなくて、たとえば不法投棄対策のところに、どこの地域に貸出したかという貸出先について、プライバシーを阻害しない範囲で大まかでも書いていただきたい。リサイクル活動拠点の確保のところも、市内会場10会場とあるけれども、会場名を入れていただければ有難いです。ダンボールコンポストの講習会の参加についても、会場はどこだったのか。給食堆肥については分かりやすく、棚倉小学校や木津高校と書かれているので、認識レベルが把握できるので大変有難い。防鳥用ネットでも貸出数が多いので、全部は書けなくても上位何地域など書ける範囲でお願いしたい。 また、粉碎機なんですけれども、現在3台あって予約待ちの方が5件おられるということですので、様子を見て1台ぐらい増やしていただいたらどうかと。ただし同じものを増やすのではなくて、現在より馬力の強いものであるとか。

		<p>また、貸出にあたってマニュアルを渡すだけとかではなくて、例えばメーカーに使用方法の講習にきてもらうよう働きかけるといったきめ細やかな配慮をされるほうがいいんじゃないかと思います。</p> <p>それから継続審査となっているものについて、無料給水スポット設置事業については継続審議となっているけれども、自然災害が発生したときに電気・水がまずやられますね。給水スポットという公共施設に設置することが殆どかと思いますが、遊んでいる空井戸に手押しポンプつけるとか、飲めなくても生活用水を確保するという点で良いのではないかと。水洗便所の水が流れないなどは震災時に大変な悲劇でしたからね。ごみの減量化と井戸水の保護はどうつながるのかということになりますが、物を大切にす、水を大切にすということで廃棄の処理もエコになると。ですから、無料給水スポット設置事業というのを、もっと別の呼び名に変えてでも是非取り組んでいただきたい。</p> <p>市役所は部署がたくさんありますので、所管がいろいろあるかとは思いますが、一番潤沢な財源をもっているのはまち美化さんですし、実際の生活に一番直結するといったらまち美化さんが近いと思いますので、ぜひとも具体化して、別部会をつくるっていう意欲で検討していただきたい。</p> <p>他の委員のみなさんもお考えがありましたら、ご指摘なりご批判なりいただいたら有難いです。以上です。</p> <p>田中委員 無料給水スポットがごみの減量とどう関係するのか、それだけ聞ければと思うんですが。</p> <p>二宮委員 市民提案型ごみ減量活動等補助金について、対象となった事業の結果という具体的な数値なり、用いた結果どういった効果があったのか公表とかお知らせされてるんでしょうか。</p> <p>山本部長 まず中尾委員からありましたご意見から回答いたします。財源活用事業の内容表記について、もうすこし具体的なところを明記をしてほしいということでご要望いただきました。できるだけコンパクトにまとめようということで、こういう形になっておりますけれども、記載できる範囲の中で今後詳細に記載していこうと思っています。また、剪定枝破碎機の貸出事業で、こういう件数があるならばもう1台購入してということですが、予算計上の都合もありますので、いまの予算の執行状況をみながら可能であれば検討していきたいと思います。</p> <p>また、田中委員のご質問とも絡むところではございますが、無料給水スポットの設置事業につきましては、ペットボトル等をできるだけ無くしていくために、マイボトルを携帯して給水スポットで給水するようなことはどうか、という内容だったと記憶しております。井戸を設置するとかいうことになると、今回の有料化による財源活用についてはごみの減量に資するところで使っていくため、環境と関係するんじゃないかという話もありましたが、ごみの減量に</p>
--	--	---

		<p>どのような形で結びつくのかというところが明確にされない限り、いかに潤沢な財源があるとしても用途としては難しいのではないかと事務局では思っております。</p> <p>また、毎年7,000万円近いお金がでてくるのかというところですが、減量が進めば購入されるごみ袋の量も減ってまいります。なぜこれほど有料化財源がでてきたのか、という点については事務局としても分析をしておりますが、有料化が始まってからごみ袋を取扱う店舗数も増えてきており、購入されるよりも店舗で在庫を抱えるために、実際に使っているよりも売れているという状況ですので、この数年間はごみ袋の販売について注視しながら、どの程度有料化の財源が継続して確保できるのか検討することが必要かと思えます。</p>
福田補佐		<p>二宮委員からのご質問については、この後の報告確認事項で昨年度の市民提案型ごみ減量活動等補助金の実績について確認いただければと思います。</p>
会 長		<p>その他いかがでしょうか。</p>
平尾委員		<p>破砕機の話なんですけど、庭木を切ったものを粉碎して、それをごみとして出すのではなく、何らかの形で個人が利用していく、という理解でよろしいですか。</p>
福田補佐		<p>はい。</p>
会 長		<p>支出との関係で、リサイクル活動の拠点事業と食用油再資源化事業なんですけど、どういう支出になっているんでしょうか。</p>
福田補佐		<p>主に消耗品です。リサイクル活動の拠点事業については、事業に使う資材の購入費ということになります。食用油の回収事業については、持ってきていただいた油をストックしておくボックスですとか、そういったものの購入費です。</p>
会 長		<p>市民じゃないのでアプリは入れていないんですが、アプリを他の事業の広報活動に使うという事はされているんですか。</p>
櫻井主任		<p>最近ですと6月なんですけど、ダンボールコンポスト講習会がコロナの影響で開催ができなかったものの、ご希望の方が多かったので先着順で無料配布を行いました。その案内については広報およびアプリからも流しまして、アプリを通じてご応募いただいた方もいらっしゃいました。</p> <p>また、今後表彰制度の広報を考えているのですが、そちらについてもアプリを利用することを検討しています。</p>
会 長		<p>ありがとうございます。</p>



		<p>それでは、次第に従いまして、議事の2点目、審議事項へ進みたいと思います。審議事項①「令和元年度市民提案型ごみ減量活動等補助金の結果報告について」を事務局から説明願います。</p>
福田補佐		事務局説明省略（令和元年度市民提案型ごみ減量活動等補助金の結果報告について）
会 長		事務局からの説明について、質問等ありましたら挙手をお願いいたします。
中尾委員		<p>質問という形ではないんですが、先進的ごみ減量モデル事業の補助申請額・交付決定額・交付確定額というのがあまりにも極端に離れすぎているんですよね。これは問題があったからこうなったわけであって、その問題をもっと分析して継続的に申請が出るようにしていかないと。嫌がられるくらい「なぜ申請しないのか？」と聞いた方がいいんじゃないのか。木津高校は80万円が20万円になっている。これもやっぱり問題があったからであって、その問題がどこにあったのかということは次の世代に夢を継いでいってもらうために、環境を守るために、真剣に取り組んでいただきたい。</p>
山本部長		<p>木津高校の減額理由については、こちらから減額を求めたのではなく、農業クラブさんの取り組みの中で節減できるところがあるので、その分は減らして利用します、ということでした。何か問題があって減ったという認識は事務局では持っておりません。</p> <p>また、もう一度申請されるかどうかということも、先進的モデル事業を利用することで、今後自ら継続できる見込みが立ったため、今回申請がなかったと担当から聞いております。逆にモデル事業を行うことで、自らやっていける事業展開ができるようになったという点で、一定の評価を事務局はしております。</p>
平尾委員		もってけドロボー市の主な支出というのは何だったんでしょうか。会場費みたいなものなんですか。
福田補佐		使えないものをアートにすると。そういったリメイクの講習等をされていますので、その講師謝礼ですとか、ボランティアスタッフの人件費であったり、会場のレンタル費用といったものに使われています。
二宮委員		補助金を使って事業をされている、ということですので、成果を皆さんに広くお知らせすべきじゃないかと思うんですが、どのようにお考えですか。
福田補佐		現時点で市民の方に報告はできておりません。今後何らかの形で、例えば隔月で発行しているMOTTAINAI 便りを通じてなどできればと考えております。

二宮委員	事務局としては、成果の報告は受けておられますか。
山本部長	実績の公表については、本来であれば市民に向けた発表会を通じて、どのような成果があったか自ら発表いただける場を予定しておりましたが、コロナの関係でできなくなりました。団体から実績報告はいただいておりますので、それをコンパクトにまとめたものがこの実績報告となっております。今回審議会でご説明させていただいた後、HP等で公表していきたいと考えております。もしこの中身についてもっと具体的に書くべきということであれば、もう少し詳しく記載して公表させてもらえたらと思っております。以上です。
会長	時間が過ぎておりますが、審議事項②の「令和2年度の開催スケジュール等について」を事務局から説明願います。
福田補佐	事務局説明省略（令和2年度の開催スケジュール等について）
会長	事務局からの説明について、質問等ありましたら挙手をお願いいたします。
二宮委員	家庭系可燃ごみの有料指定袋の各店舗の在庫把握が難しいということなのですが、次年度に作成するための大体的見込みはどのように把握されるのでしょうか。次年度の作成量ですとかどのくらい使われるかなど、仕様にも関わってくると思うんですが。
山本部長	ごみ袋の使用量については、在庫管理を毎月しておりますので、それによってどれくらい必要であるのかを算定しています。留意しておくべきことは、作りすぎてもいけないし、店舗の在庫がなくなってしまうこともいけないので、きちんと市民へ供給できることを考慮してやっていきたいと思っております。ただ、袋を海外で作っておりましたので今年度はコロナの関係で輸入がストップしてしまい、納品時期がずれるなど不測の事態が発生しました。このこともあり、在庫については納品時期についても余裕をもって対応していかなければいけないと反省しているところです。
田中委員	袋は、市の方でもどこかで一時保管しているということがあるのでしょうか。
福田補佐	はい。一旦は市の施設で保管しております。
田中委員	今後の予定で、袋のサイズについて来年1月ごろに審議するということになっておりますけれども、中々すぐに審議できることではないと思うんですね。市民にアンケートをとるとかの必要があるんじゃないかと。十数人だけで審議するだけでというのでは難しいんじゃないか、もう少し市民や団体へ正確な需要のリサーチが必要ではないか、また国のほうでもプラごみの扱いだとか盆前

		<p>に話があったと思うんですが、そういったところをリサーチして、数年後の減量につなげていく必要があると思いますし、それだけのデータがないと判断できないんじゃないかと。市の方針はどうか。</p> <p>山本部長 指定ごみ袋の素材やサイズと仕様の関係ですが、プラスチック類を廃止していく方向の中で、今のようなごみ袋がいいのかどうか、素材についてももう少し違った視点から考える必要があるのかどうかということで、他の自治体の情報なども収集しながら資料を提供させていただきたいと思っています。サイズの方については、議会の方からも、もう少し小さなサイズを作ってはどうかとよく耳にしていると聞いておりますので、アンケートをとってするというのも検討しますが、実際に小さなサイズを委員の皆様手に取って審議いただきたいと思っています。また11月には組成調査も行っていますので、1つの袋にどれくらいのごみが詰められているのかということも把握しながら、サイズについては検討していきたいと思っていますので、直ちに市民を対象にしたアンケートをするという考えはありません。どういう形で大きさを決めていくのかについては事務局でも検討していきたいと思っています。</p>
	<p>会 長</p>	<p>議会の方で、というお話がありましたが、市民からの問い合わせの中でもそういった話はあるんでしょうか。</p>
	<p>山本部長</p>	<p>直接市民の方がまち美化推進課の窓口でごみ袋を買われるということ稀ですので、直接そういったお話があるということはありませんが、高齢のおひとり住まいの方であれば7Lでは少し大きいのももう少し小さいサイズあったら、というお声を聞いたりはしています。ただそのサイズについてはそれぞれのご家庭や出てくるごみの量によって様々ですので、これですつといくのかということではなくて、都度見直しが必要であると思っています。</p>
	<p>会 長</p>	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは最後の議題ですが、審議事項③「部会の確認及び部会における部会長、副部会長の指名等について」を事務局から説明願います。</p>
	<p>福田補佐</p>	<p>事務局説明省略（部会の確認及び部会における部会長、副部会長の指名等について）</p>
	<p>会 長</p>	<p>この後挙手いただいて、そのままでいくのか、2年ごとに交代、1年ごとに交代するのかについて多数決で決めてしまおうと思いますが、ご質問ございますでしょうか。とりあえず今年度はこの名簿順で決めていくんですが、今年度が終わるところで2年目が終わることになりますので来年度のときにどうするかというところですね。特になければ挙手で決めさせていただきます。</p> <p>では、このままでいくということで良いんじゃないかという方。…5名。2年</p>

	<p>福田補佐</p> <p>会長</p> <p>櫻井主任 (進行)</p> <p>山本部長</p>	<p>ごとに交代という方…1名。では1年ごとに交代でという方…3名。そのまま、という方が一番多いですね。よろしくお願いします。</p> <p>この後それぞれ部会長と副部会長を、部会に分かれて互選で決めていただくということによろしいですか。</p> <p>部会長・副部会長の指名についてなんですが、昨年度部会長・副部会長は指名させていただきましたが、役員改選等で評価部会については部会長、推進部会については副部会長が抜けられましたので、改めて評価部会では部会長、推進部会では副部会長を互選していただきたいと考えております。</p> <p>〈部会長・副部会長の選出〉</p> <p>では、部会長・副部会長が選出されましたので、私の方で指名するという形で任命させていただきます。推進部会の部会長は中尾委員お願いします。副部会長は公募委員の二宮委員お願いします。評価部会については、部会長は内村委員お願いします。また副部会長ですが、本日もご欠席ですけれども中島委員にお願いしたいと思います。</p> <p>推進部会については、本日諮問がありました「1. 財源活用事業の推進に関すること」の内、このあと予定しております「①市民提案型ごみ減量活動等補助金申請案件の審査について」、評価部会については、「2. 継続的な点検・評価・改善に関すること」の内「①財源活用事業の点検及び評価について」を、それぞれ付託しますので、各部会において審議をお願いします。今後については部会の決定を以て審議会の決定とさせていただきます。</p> <p>時間が大分オーバーしてしまいましたが、本日も予定をしていました内容は以上です。ありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。本日のスケジュールは以上になりますが、このあと引き続き第1回推進部会を開催いたします。予定が押しているところ申し訳ありませんが、15時55分から開催させていただきたいと思います。また、第1回評価部会と第2回審議会については、日程が近づきましたらあらためて日程を調整のうえ、ご案内させていただきます。</p> <p>最後に、事務局を代表いたしまして、山本市民部長から一言、ご挨拶申し上げます。</p> <p>〈部長挨拶〉</p> <p>〈閉会〉</p>
<p>その他 特記事項</p>		